

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 神戸聖隷福祉事業団 北但広域療育センター 児童発達支援センター「すまいる」		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 25日		～ 2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	74	(回答者数) 37
○従業者評価実施期間	2024年 9月 1日		～ 2024年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ご本人や、ご家族の思いに寄り添いながら園、福祉、医療、相談支援事業所などと連携を取り、利用者主体の支援を心掛けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご本人やご家族の思いをしっかりと聞きし、思いに寄り添うサポートができるように努めている。</li> <li>・センターとしての役割を意識しながら情報共有等連携を大事にしている。</li> <li>・事業としての立ち位置を考えつつ、本人の最大の利益となるように連携を取るよう心掛けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員一人ひとりが地域の資源となるように更なる資質向上を目指していく。</li> <li>・事業ごとの役割や窓口を明確にすることで連携しやすい組織づくりを強化する。</li> </ul>
2	・多くの事業があるため、多職種連携しやすい環境である。(訪問支援・放課後デイ・相談支援・クリニック)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問支援や療法士による個別利用の際には、グループ療育での様子を共有したり反対に訪問支援や療法士個別の様子を聞くなど専門職が様々な視点を持って支援に繋げている。</li> <li>・必要に応じて、併設されたクリニックをご案内したりセルフプランの方の後方支援として相談員に繋ぐなどの連携をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、支援の充実を図るために職員間で話し合う時間を持つようにする。</li> <li>・今後も必要に応じて療法士や心理士、相談員とも連携をとる。</li> </ul>
3	・個々に合わせた根拠のある専門的な支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その子の興味、関心、特性に合わせてプログラムを工夫している。</li> <li>・支援方法や活動の進め方など想定される状況も意識しながらチームで検討している。</li> <li>・療育の前にはスタッフ間で情報共有をする時間を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修を受けたり他事業所の見学をするなどプログラムが固定化していないかの見直しや個々に合った支援が提供できるように努める。</li> <li>・引き続き職員研修を受けて、より支援の向上を図る。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者学習会やイベント等の情報発信や、保護者への連絡方法が行き届いていない時がある。	・情報発信しているが、連絡方法に限りがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行の連絡方法に加えて新たなものも考え、受け取る方に選択していただける形を考える。</li> <li>・メールなどの発信と合わせて掲示もしていく。その際、保護者が見やすい場所に掲示する。</li> </ul>
2	・利用状況や療育の空きの有無などの情報が不透明。	・確認の仕方が分かりづらい。	・分かりやすく発信できるように工夫する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援センター 「すまいる」
------	-------------------

公表日 2025年 2月4日

利用児童数 74 回収数 37

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	31	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の部屋がもう少し広いといいなと思います。</li> <li>はじまりの会の時、机のスペースがなく、前に行く時など大変そうに思う。</li> <li>勉強、遊び、運動とそれぞれの場所があり十分だと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>木の部屋の利用人数が多くなってしまいう時があるため、時間をずらしたり活動内容の工夫が更に必要と感じ、改善していく。密を避けるために時間をずらしたり活動内容の工夫をしてより良い療育の提供を目指します。</li> </ul>	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	34	2		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども1～2人に対し先生が1人ついておられ離れられることがあれば他の先生も関わってくださいます。</li> <li>一人に対して一人の職員さんがついてくださり、ありがたく思っています。</li> <li>先生一人がずっとついていてくれるので安心できます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童発達支援管理責任者に加え、保育士・児童指導員を配置し、加えて理学療法士、言語聴覚士を配置している。</li> <li>こどもたちのニーズに合わせたグループ編成として職員を適切に配置している。</li> <li>保育士・療法士等、療育に必要なスタッフの適切な配置に努めます。</li> <li>担当スタッフ不在時には当日関わる職員を保護者の方にもお伝えし、安心していただけるように努めます。</li> </ul>	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	4			1	<ul style="list-style-type: none"> <li>今している活動はどういった目的で行っているのか、その時の関わり方など、丁寧に説明してもらっていてとてもありがたいです。</li> <li>なっていると思います。</li> <li>どこで何をするかわかりやすく、こどもが自分から動いています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全館バリアフリーになっており、こどもから見た動線に配慮した上での構造化を実施し、必要に応じて改善している。</li> <li>視覚的な手がかり等を有効活用し、より、こどもたちにとって分かりやすい環境整備や、安全面での配慮に努めます。</li> </ul>
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35	2				<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に換気に努めるとともに、空気清浄機、加湿器等も使用している。</li> <li>感染症予防のために療育後の掃除、消毒、換気を継続して実施し、安心していただける空間作りに努めます。</li> </ul>	
適切な 支	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>普通に声掛けしても通じない事でも、先生の声のかけ方だと言うことを聞いてくれたりするので、声のかけ方や視覚からの情報を工夫することでこんなに伝わり方が違うんだと驚くことばかりです。</li> <li>こどもに合わせて対応していただけていると思います。</li> <li>こどもがやることを否定せずタイミングを待って次の行動に誘導してくれています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後もこどもの理解に努め、専門性のある支援を実施します。</li> </ul>	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31	2			4		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	34	1			2	<ul style="list-style-type: none"> <li>こどもの成長に合わせて計画してもらっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用開始時のアセスメントや初回評価の方法を改善し、スムーズな利用に繋がるよう努力しています。</li> <li>アセスメント、モニタリングの際は、こどもと保護者からのニーズを傾聴し、課題の分析を行い計画作成にあたります。</li> </ul>

援 の 提 供	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32	2		3	・ガイドラインに基づいて計画を作成しています。今後一人ひとりに合った支援内容を具体的に記載できるよう努めます。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32	4		1	・それぞれのこども達に合った支援方法を職員間で共有し、年間スケジュールに沿って日々支援を行なっています。 ・児童発達支援計画に沿って、それぞれのこどもたちの状況や支援目標に沿った支援方法を職員間で共有して実施します。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	5		2	無回答 1 ・少し固定化されているように思います。 ・色々なことを楽しめるように考えてくださっています。	・グループごとに年間計画を策定し、教材ソフト等も活用しながら定期的に活動内容の見直しを行い、プログラムを立てています。 ・子どもたちの状況に応じ、教材ソフト等を活用しながらプログラムが固定化しないような工夫をしていきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	24	4	4	5	・「地域で」というのがよくわかりません。 ・認定こども園に通所	・保育所や認定こども園、幼稚園等と並行通園されている方が多いため行っていない。 ・並行通園のため、現在予定はしておりません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	36	1			・説明の間子どもが待てるようにおもちやを持ってきてくださいました。	・見学、契約時、支援開始時等に重要事項説明書等により説明をしています。 ・変更のあった際には文書を配布し、必要に応じて同意をいただいている。 ・今後も丁寧に保護者へわかりやすく説明するとともに、想定される事項についても確認をします。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	34	1		2	・行われていると思いますが、なかなか参加できていません。	・保護者学習会等の実施の際には案内を掲示するなど十分周知できるように配慮します。 ・オンラインを含めた情報提供の手段を検討します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができてきていると思いますか。	35	2			・毎回日頃の様子を伺ってくれます。	・日々の利用時に限らず、時間をとって相談できる機会を設け、保護者に療育や就学についての相談や説明の機会を持ち、共通理解に努めている。 ・今後も療育後には、療育時の様子やこどもの発達状況や課題をお伝えし共通理解に努めます。また、時間をとって相談できることを再度周知し、保護者との共通理解に努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	35	2			・家や園での困りごとをきいてもらい、どうすればよいのかをたくさんアドバイスしてもらっていて、毎回通う度に困り事が少しずつ解消して助かっています。 ・毎度先生には色々教えて頂いて感謝しています。 ・話を聞いてくださって、アドバイスをいただいています。	・療育時の相談や、時間枠を設けて事業所内相談にて、保護者の方の思いに寄り添いながら一緒に考えていけるように努めています。 ・保護者からの電話対応にも真摯に対応し、助言を行なっています。 ・普段の療育時だけではなく、ご希望に応じて事業所内相談や家庭連携、また電話相談についても丁寧に対応します。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36	1			・いつも協力的に支援してもらっており、ありがとうございます。		

	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	7	2	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の情報収集不足です。</li> <li>きょうだいへの支援についてはよくわかりませんでした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、親の会の開催場所を提供しています。</li> <li>保護者同士の輪が広がるよう、開催方法を事業ごとに変更しました。</li> <li>必要に応じて保護者同士の交流を深める場を設けます。</li> </ul>
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	4	1	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>まだ相談したいことがありませんので。</li> </ul>	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	35	1		1		<ul style="list-style-type: none"> <li>39メールを使って、必要な情報伝達に努めている。</li> <li>利用児へは、具体的なスケジュールの提示や構造化により、個々に合わせた対応を行っています。</li> <li>保護者や本人とともに、個々に合わせた支援方法で意思の疎通や情報伝達できるように努めます。</li> </ul>
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28	3		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の情報収集不足で聞いたかもしれませんが見えていません。</li> <li>すまいるつうしんは発信されていますが、自己評価の結果は発信されていないように思います。</li> <li>はい。</li> <li>現在39メールでメールを開いてURLを押してPDFが開くという操作が少し面倒なので、アプリ等で直接見れたら楽だと感じます。視認性も良くありません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月「風便り」「すまいる通信」を希望に応じて紙・データで配布して情報提供を行っています。</li> <li>自己評価の結果についてはホームページに掲載しています。</li> <li>引き続き定期的な情報提供を行うとともに、SNSやホームページ等を活用した情報提供をしていきます。</li> </ul>
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34	1		2		<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報の取扱いに関しては、全職員が十分に配慮し対応しています。</li> <li>契約時の重要事項説明時に個人情報保護についての説明を行っています。</li> <li>今後も個人情報取扱いに関しては十分に注意を払っていきます。</li> </ul>
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	4	2	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓練についてはわからないので。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マニュアルは作成されており、随時更新して職員への周知に努めている。</li> <li>今後は周知の方法を検討し子ども、保護者にも分かりやすいマニュアル作りを行っていきます。また、ポップ等を付けるなど掲示の方法も分かり易く工夫します。</li> </ul>
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	2	2	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓練についてはわからないので。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練を年に2回実施しています。また訓練の様子を引き続き風便りで発信していきます。</li> </ul>
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	1	2	8		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	1	1	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>契約時に説明を行っています。</li> </ul>
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	37				<ul style="list-style-type: none"> <li>毎回楽しみにしています。</li> <li>毎週楽しみにしているということは安心感を持っているということだと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も安心していただけるよう努めていきます。</li> </ul>

満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	34	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大変な時もありましたが、徐々に園と療育の違いも理解しており、日増しに通所を楽しみにしています。</li> <li>・保育園へ行くより療育の方が好きで通所しています。</li> <li>・毎週楽しみにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も楽しく通っていただけるよう支援します。</li> </ul>
	29	事業所の支援に満足していますか。	31	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すまいるに通いだし一年過ぎとても成長を感じます。</li> <li>・3歳児から通っていますが本人もいつもわくわくしながら通所しています。親も勉強になります。</li> <li>・母も子も満足しています。</li> <li>・本人は楽しく通所しています。ただ通所に係る送迎等の負担もあり、通所していることがどれくらい本人の発達に寄与しているのかわかりづらく今後も継続するのかが検討中です。</li> <li>・十分満足しています。</li> <li>・週1なのをもっと増やしてほしいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も支援に満足していただけるよう、保護者の方からの意見も参考に、職員間で話し合いを実施していきます。</li> </ul>

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援センター 「すまいる」	公表日 2025年 2月 4日
------	-------------------	-----------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊び場所を分ける。</li> <li>・木の部屋、グループ同士は時間をずらしているのが良いが同じグループの人が全員木の部屋に行くとき密に感じる。</li> <li>・運動の部屋を使用する時間をずらしているが、、、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木の部屋が狭く感じる。</li> </ul>
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席が多い日はスタッフが多く感じる。</li> <li>・何人に対し何人スタッフがいますのでOKではない(グループのタイプ、個々の様子による)。</li> <li>・こどもの様子等によっては少ないと感じる時がある。</li> <li>・理想を言えば保育士グループもOTももう少し欲しい。</li> </ul>
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・できている時とそうでない時がある。</li> </ul>
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分ではないが常に意識している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活発な意見交換ができるように努める。</li> </ul>
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない。</li> </ul>
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成済み。</li> </ul>
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援会議の充実を図りたい。</li> </ul>
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員によりバラつきがあると感じる。</li> </ul>

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	・固定しがちのため工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		・サポートファイル作成。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	6	4		・更に努力が必要だと感じる。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9	1		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	8	2		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	5		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10				
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1		・不十分な時がある。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	1		・開催しているが参加される方が限られており少ない。交流することでのメリットが感じられるように？ ・わからない。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	2		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10			・対応マニュアルを作成している。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	3		・計画には載せていないが、事業所として委員会を設置し、身体拘束について話を行っている。	